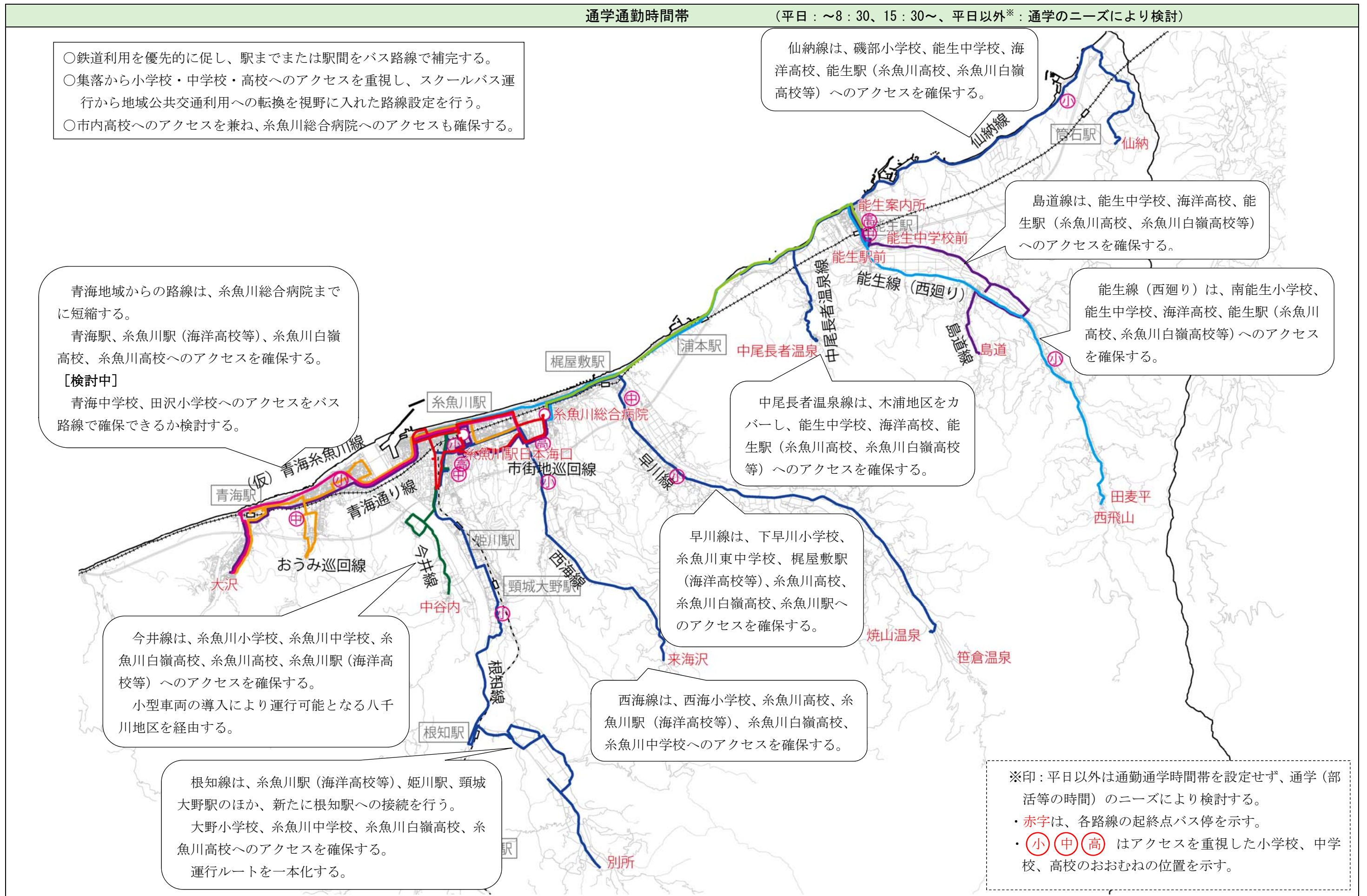


再編ルート全体図（詳細は8ページ以降参照）



再編ルート全体図（詳細は8ページ以降参照）

生活時間帯

（平日：8：30～15：30、平日以外※：通学ニーズにより検討）

- 各集落から糸魚川駅、糸魚川総合病院、能生案内所のいずれか最寄りの乗換拠点までに短縮し、そこからの乗換による利便性を確保するため、乗換拠点間（特に市街地）の運行路線の整備を行う。
- 能生地域、青海地域の競合路線は集約を行い、地域内移動を主としたコンパクトで分かりやすい路線設定を行う。

糸魚川駅より西側の路線は集落から糸魚川駅まで、東側の路線は集落から糸魚川総合病院までの運行に短縮する。
市街地内の移動手段として市街地巡回線、(仮)中央線を運行する。

能生青海線の短縮化の代替として能生駅前～糸魚川総合病院間の路線（(仮)能生糸魚川線）を新設

【乗換拠点】
能生案内所
能生駅前

【検討中】
青海地域からの路線は糸魚川駅までに短縮するとともに、3路線を2路線に集約する方向で検討する。

【乗換拠点】
糸魚川駅

【乗換拠点】
糸魚川総合病院

中尾長者温泉線は、木浦地区をカバーする運行ルートに変更する。

能生谷エリアの4路線を2路線に集約する。
能生案内所までに短縮する。

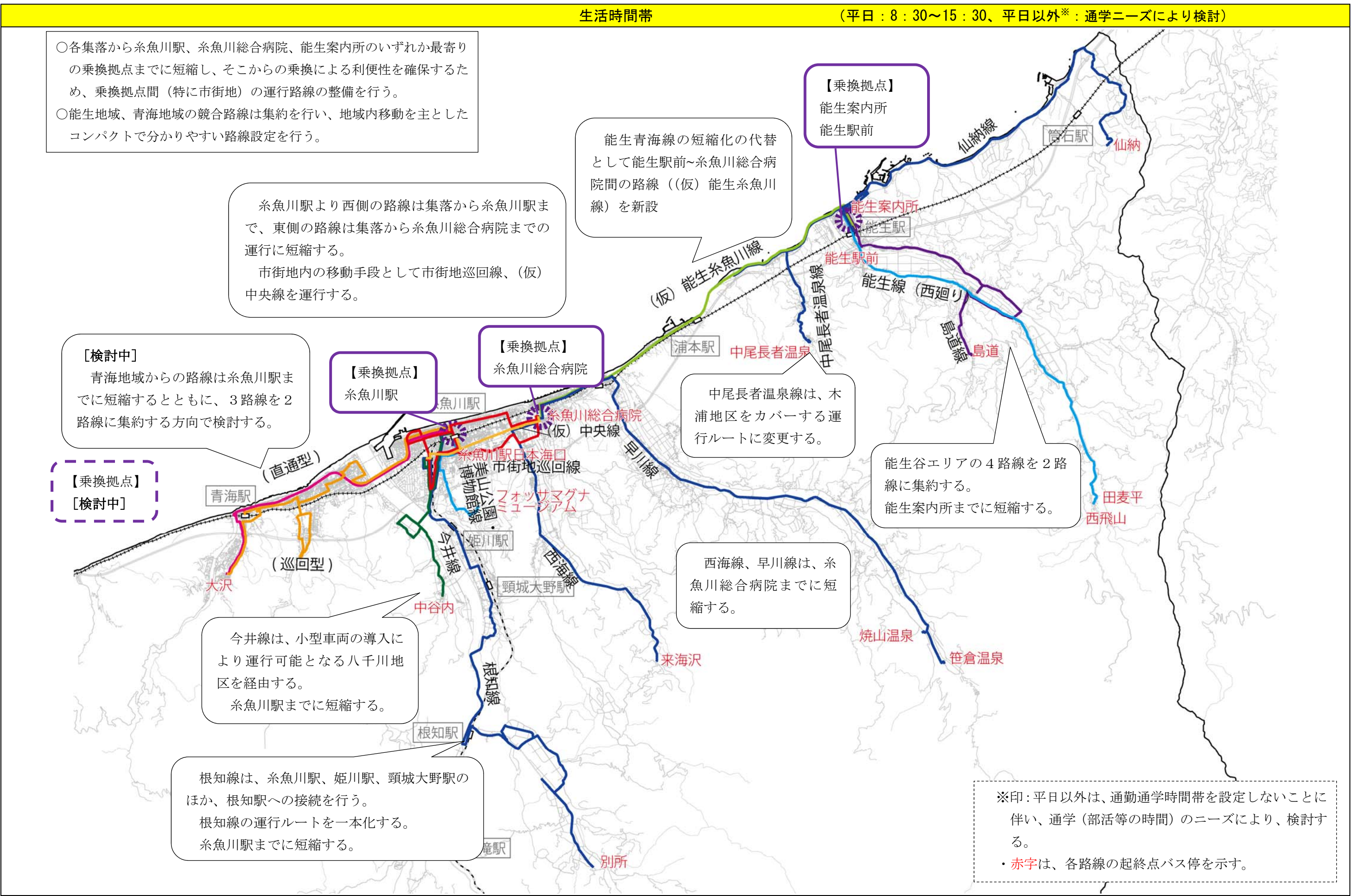
【乗換拠点】
【検討中】

西海線、早川線は、糸魚川総合病院までに短縮する。

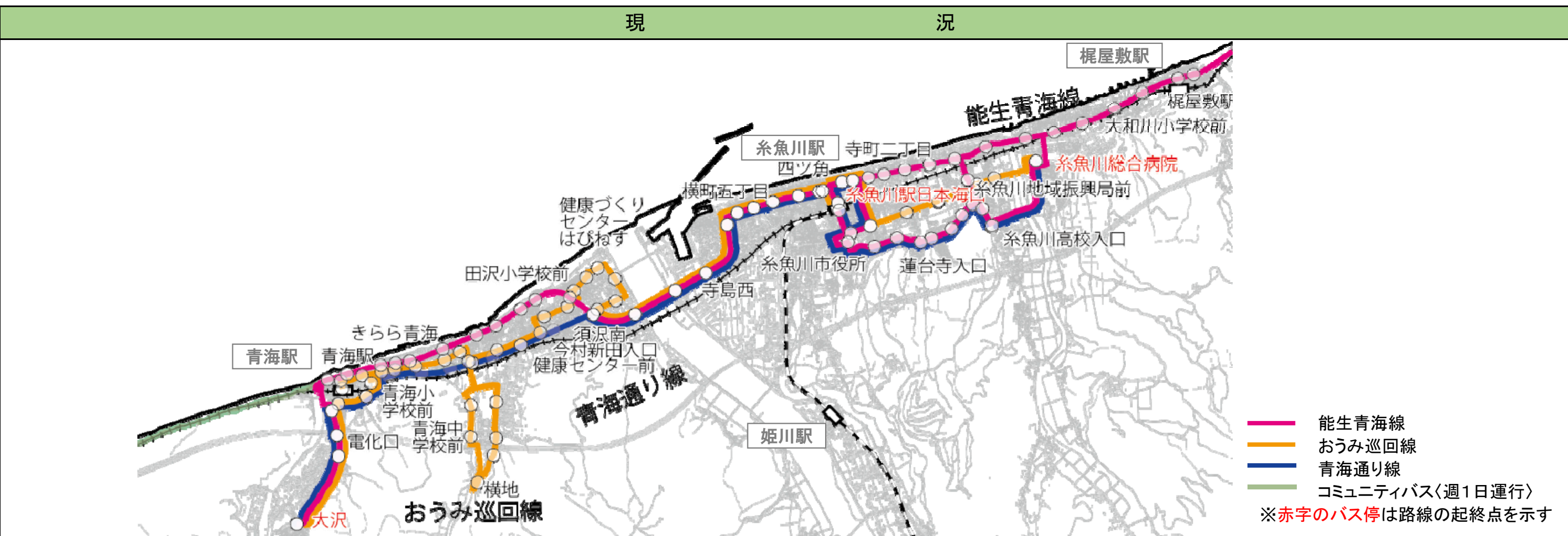
今井線は、小型車両の導入により運行可能となる八千川地区を経由する。
糸魚川駅までに短縮する。

根知線は、糸魚川駅、姫川駅、頸城大野駅のほか、根知駅への接続を行う。
根知線の運行ルートを一本化する。
糸魚川駅までに短縮する。

※印：平日以外は、通勤通学時間帯を設定しないことに伴い、通学（部活等の時間）のニーズにより、検討する。
・赤字は、各路線の起終点バス停を示す。



1 能生青海線、2 おうみ巡回線、3 青海通り線



【現状と課題】

- 28年度概算収支率
 - ・能生青海線が58%、おうみ巡回線が37%、青海通り線が52%である。
- 28年度乗降量調査結果
 - ・能生青海線は、平日平均の最大値で18.7人で、朝の高校生の通学利用が多く、18:00過ぎの2便は1.0人を下回る。
 - ・おうみ巡回線は、平日平均の最大値が16.0人を筆頭に、15.8人、11.4人といずれも生活時間帯でコンスタントに利用が多い。
 - ・青海通り線は、平日平均の最大値で15.6人で、朝夕各1便で高校生の通学利用が多い。
- 運行ルート
 - ・3路線が似た経路を運行しているため競合関係にあり、運行系統も多くわかりづらい。

【地区からの意見（抜粋）】

- ・糸魚川高校、糸魚川白嶺高校に通う約150人をターゲットとした通学路線とダイヤを確保してほしい。
- ・利用が多い時間に絞ってよいので、（おうみ巡回線のように）各地区を回るバスを増やしてほしい。
- ・青海地域で並行する国道・県道・（市道）青海通りの中で「究極の選択」が必要となれば、真ん中の県道を路線として選ばざるをえないだろう。
- ・今の経路では、買い物ができる所が少ない。

【協議会での意見】

- ・須沢地区は人口がかなり増えているので、おうみ巡回線と同じように他路線も須沢地区を經由してはどうか。
- ・青海以西（歌外波・市振地区）の観光の足として、コミュニティバスの確保やえちごトキめき鉄道のダイヤに応じたバスダイヤ編成を検討してほしい。

◆ 運行便数（平成28年3月26日改正）

能生青海線 ※青海地域運行便数	※青海地域運行便数		
	平日	土曜日	日祝日
～8:30	6	13	5
8:30～13:00	9	2	9
13:00～15:30	9	7	5
15:30～	9	7	5
計	24	22	19

◆ 参考：運行便数（平成29年4月1日改正）

能生青海線 ※青海地域運行便数	※青海地域運行便数		
	平日	土曜日	日祝日
～8:30	6	11	5
8:30～13:00	7	2	7
13:00～15:30	8	6	5
15:30～	8	6	5
計	21	19	17

おうみ巡回線

おうみ巡回線	※青海地域運行便数		
	平日	土曜日	日祝日
～8:30	1	4	
8:30～13:00	3		
13:00～15:30	1	1	
15:30～	1	1	
計	5	5	0

青海通り線

青海通り線	※青海地域運行便数		
	平日	土曜日	日祝日
～8:30	1	2	
8:30～13:00	4	3	
13:00～15:30	3	3	
15:30～	3	3	
計	8	8	0

青海通り線

青海通り線	※青海地域運行便数		
	平日	土曜日	日祝日
～8:30	1	2	
8:30～13:00	4	3	
13:00～15:30	4	4	
15:30～	4	4	
計	9	9	0

1 能生青海線、2 おうみ巡回線、3 青海通り線

【再編後イメージ】通学通勤時間帯

【路線バス再編の内容、改善点】

- 運行ルート
 - ・糸魚川総合病院までとする。
 - ・おうみ巡回線以外は、糸魚川高校入口経由とする。

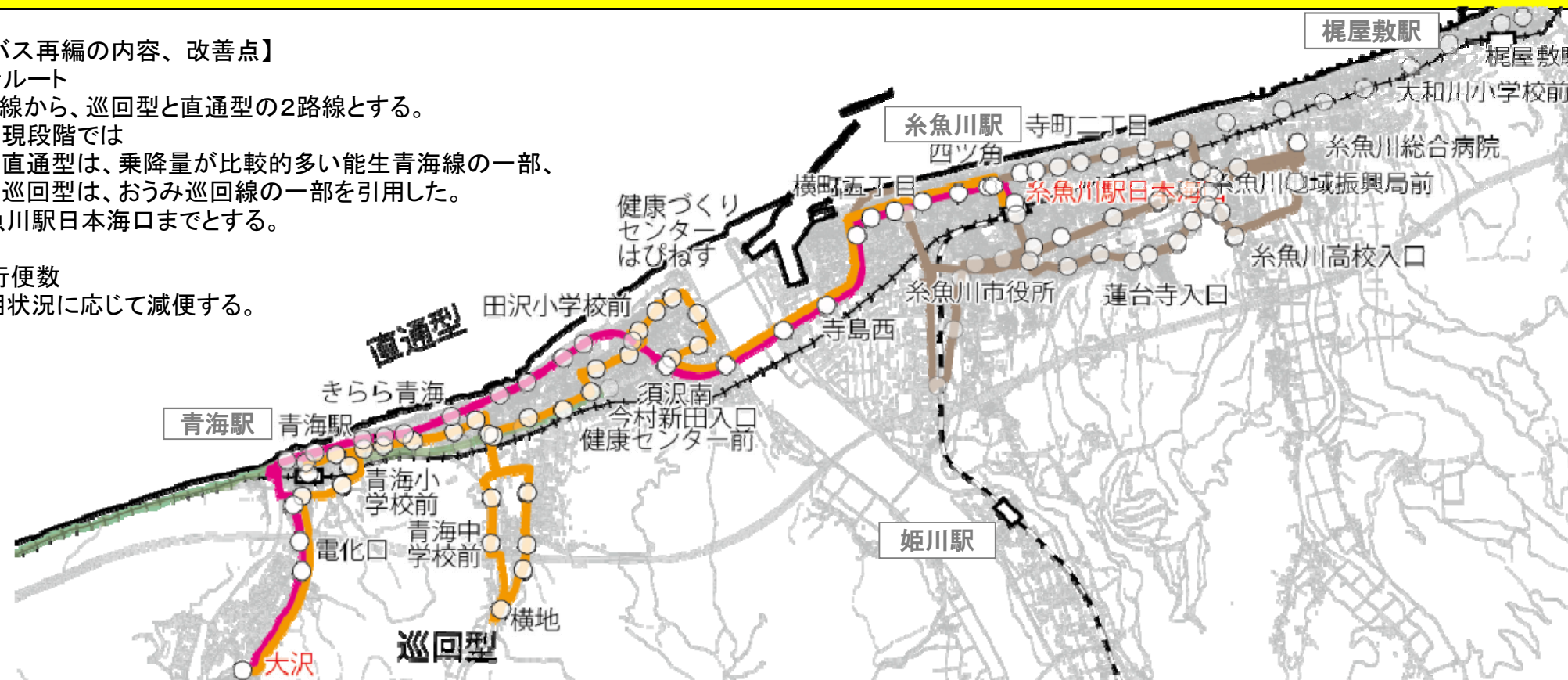


- （仮）青海糸魚川線
 - おうみ巡回線
 - 青海通り線
- ※赤字のバス停は路線の起終点を示す

【再編後イメージ】生活時間帯

【路線バス再編の内容、改善点】

- 運行ルート
 - ・3路線から、巡回型と直通型の2路線とする。
 - ※現段階では
 - 直通型は、乗降量が比較的多い能生青海線の一部、
 - 巡回型は、おうみ巡回線の一部を引用した。
 - ・糸魚川駅日本海口までとする。
- 運行便数
 - ・利用状況に応じて減便する。

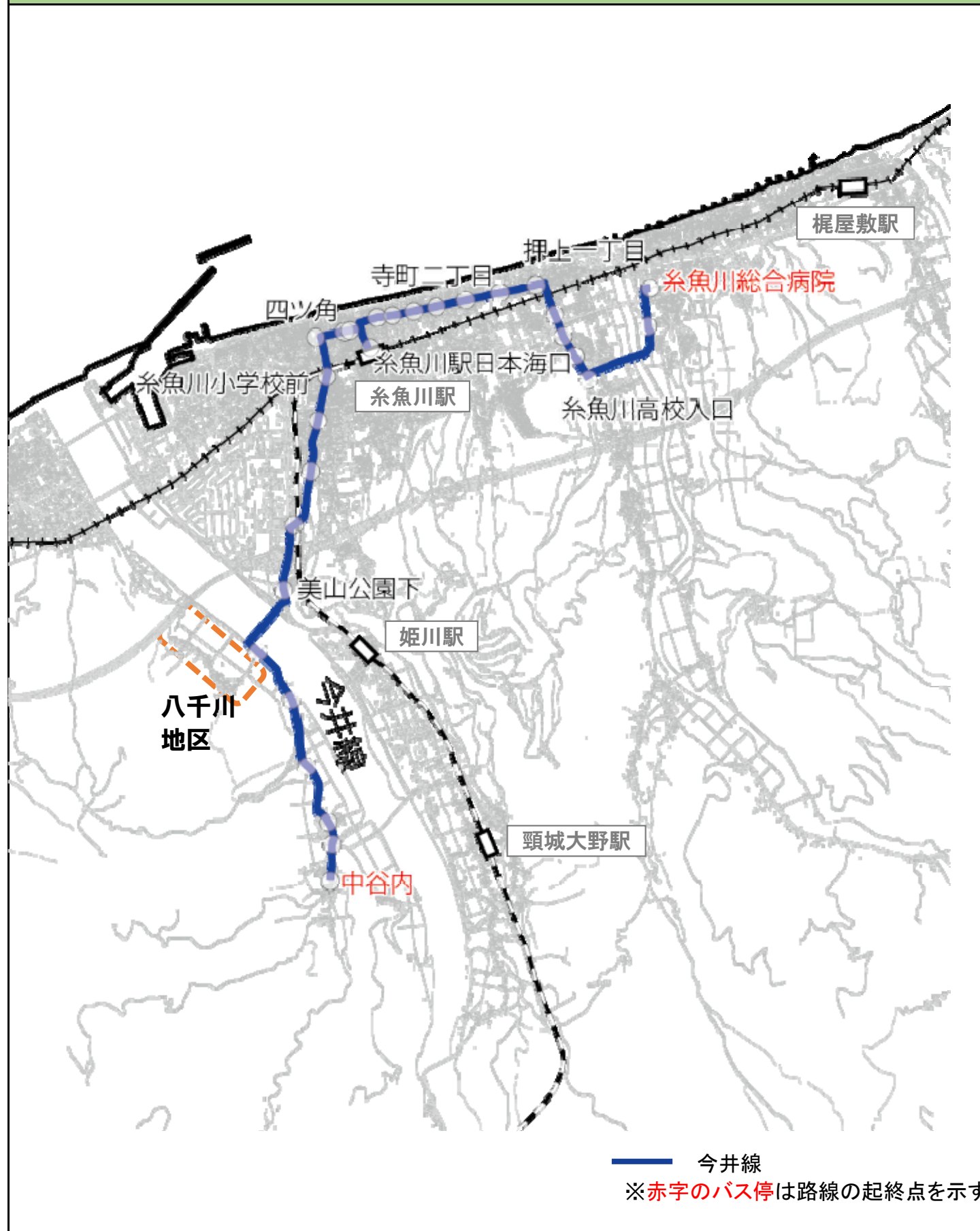


- 直通型路線
 - 巡回型路線
 - 市街地巡回線・（仮）中央線
 - コミュニティバス〈週1日運行〉
- ※赤字のバス停は路線の起終点を示す

4 今井線

現

況



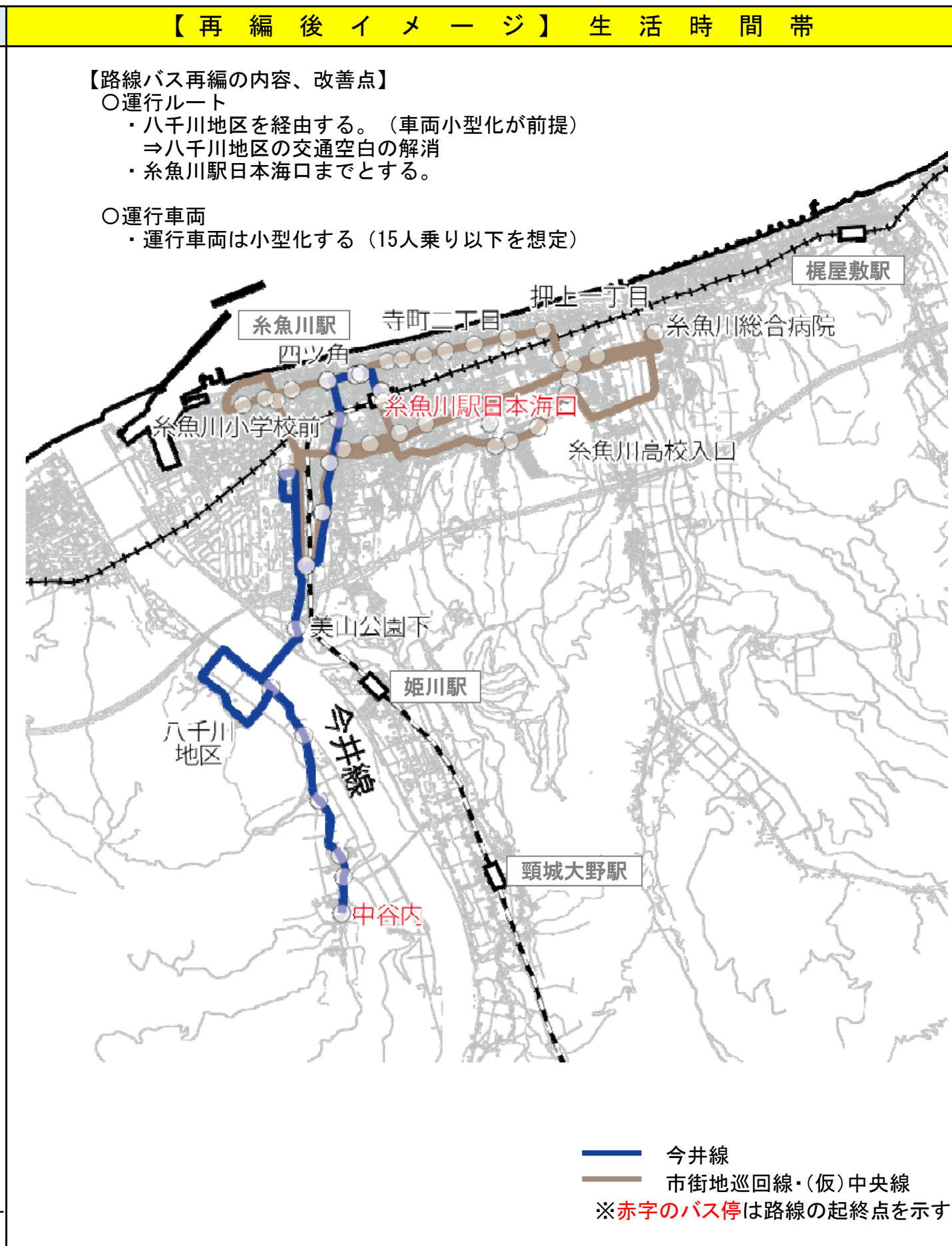
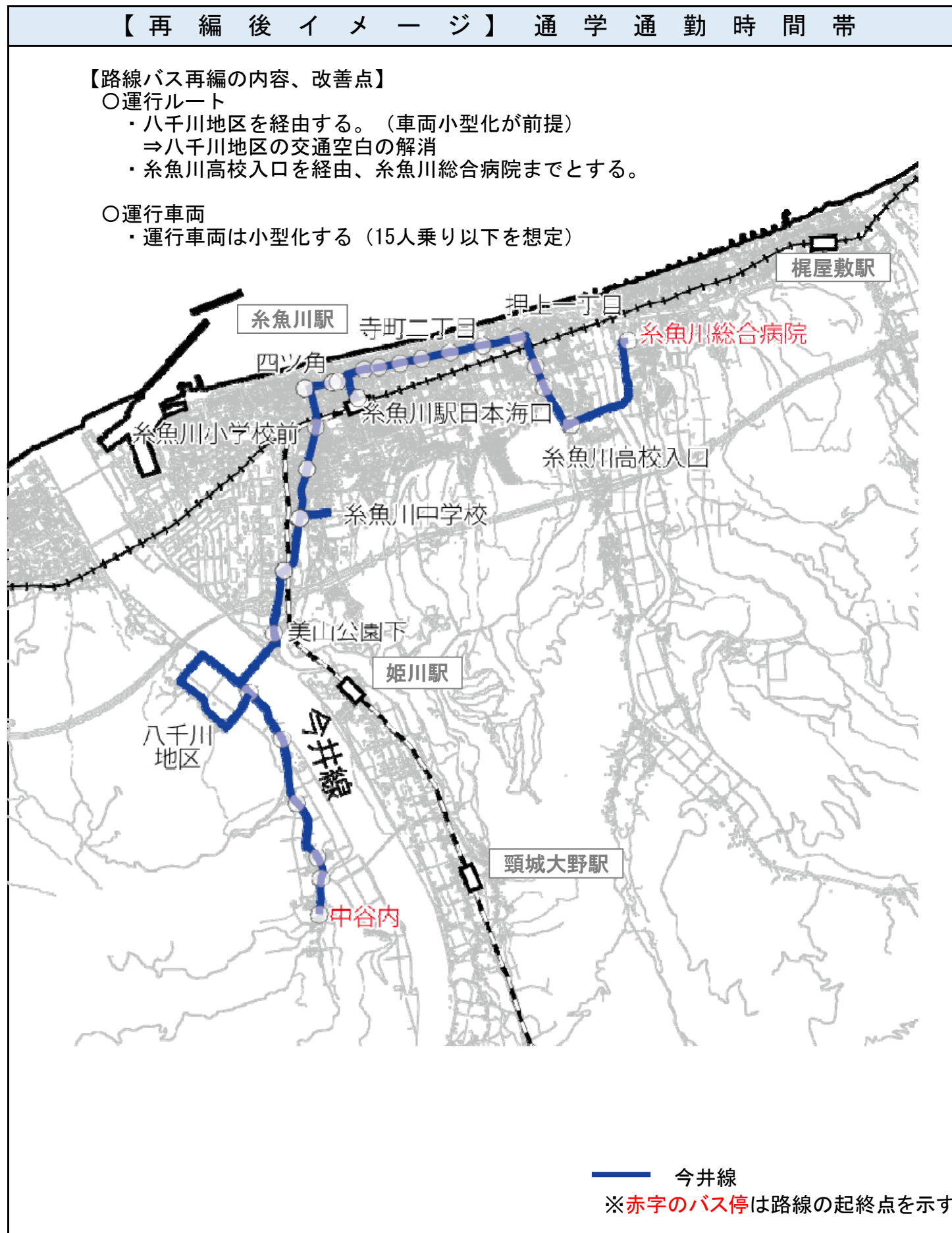
【現状と課題】

- 28年度概算収支率
 - ・25%と低い。
 - 28年度乗降量調査結果
 - ・平日平均の最大値で11.2人で、朝の通学利用がある。
 - ・生活時間帯は全て4.0人以下で、今井地区内では2.0人以下である。
 - 運行ルート
 - ・八千川地区にバスネットワークの運行がない。
 - ・糸魚川高校入口経由の運行系統が生活時間帯のみ運行され、通学時間帯に運行されていない。
- 【地区からの意見（抜粋）】
- ・八千川地区まで入ってくれる公共交通があればありがたい。
 - ・利用状況から見ると、学生利用を考えるとジャンボタクシーで十分。

◆ 運行便数

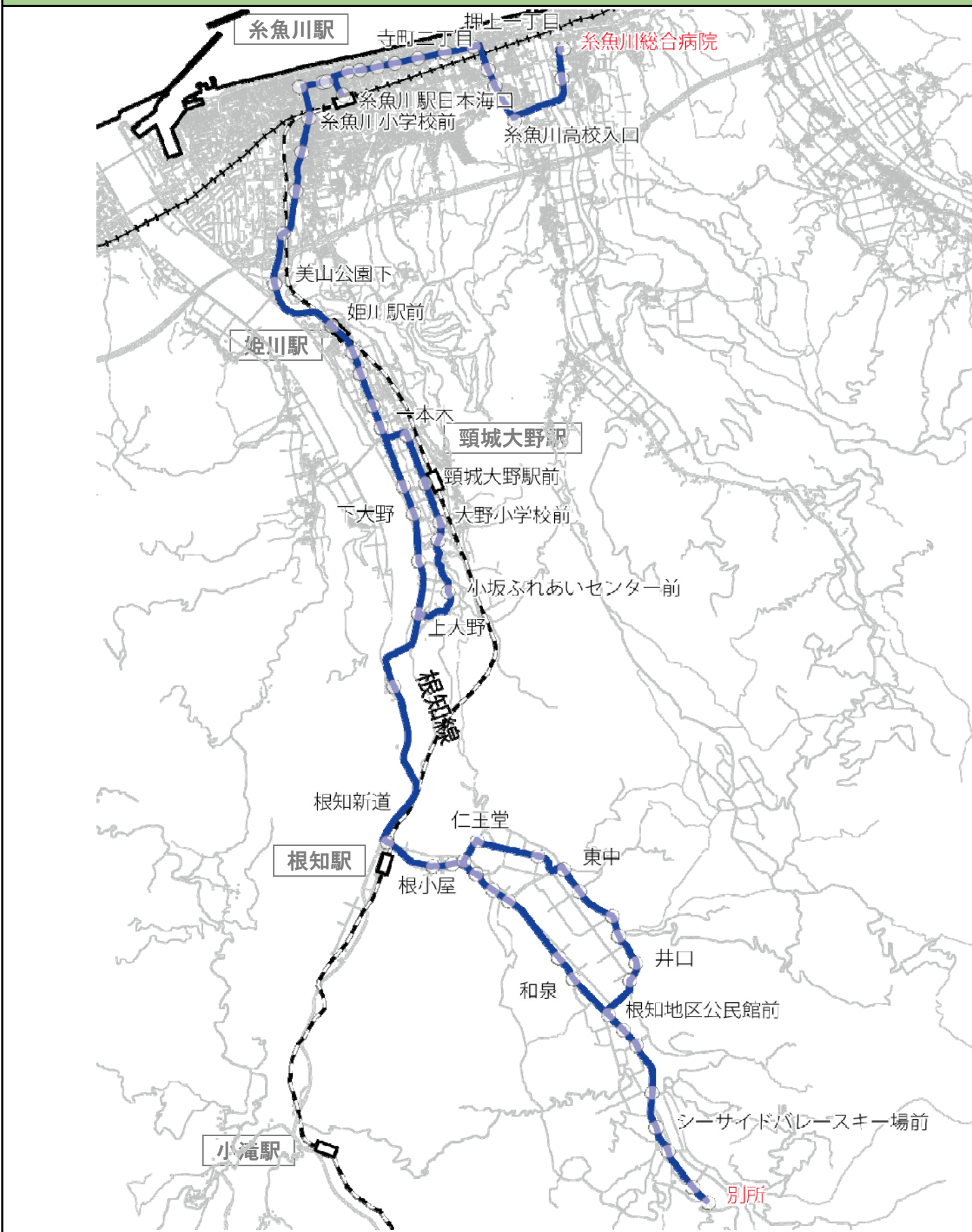
	平日	土曜日	日祝日
～8:30	2	4	
8:30～13:00	4		
13:00～15:30			
15:30～	5		
計	11	4	0

4 今井線



5 根知線

現 況



【現状と課題】

- 28年度概算収支率
 - ・23%と低い。
- 28年度乗降量調査結果
 - ・平日平均の最大値で9.9人と、10.0人を下回っている。中学生の通学利用がほぼないためピークは生活時間帯にある。
 - ・冬期間の日曜日の利用で、糸魚川駅日本海口～シーサイドバレースキー場前を通して10.0人を超える利用がある便が往復2便あり、スキー場へのアクセスとして利用されている。
- 運行ルート
 - ・大系線根知駅と結節していない。
 - ・経路が複雑で、運行系統が多いためわかりづらく、それぞれの運行系統ごとの運行便数が少ないため使いづらい状況となっている。
 - ・糸魚川高校入口経由の運行系統が生活時間帯のみ運行され、通学時間帯に運行されていない。
- 公共的交通
 - ・糸魚川中学校スクールバスが、朝1便、夕2便を貸切バス運行委託により運行されている。最終便は、部活動等の終了時刻に合わせて3種類の季節別運行時刻となっている。

【地区からの意見（抜粋）】

- ・東廻りと西廻りでダイヤの偏りがあり不便を感じているが、これをバランスよくしたとしてもどっちも使いにくいことには変わりはないだろう。
- ・東廻りと西廻りを廃止し、根知地区内は1系統（一筆書き）とする。
- ・根知駅にバスが接続していない。通学を考慮した大系線ダイヤに接続するバスダイヤが必要。
- ・わかりづらい路線はNG。大野地区内の2つの経路を一本化し、わかりやすくする。
- ・中学生しか乗れないスクールバスは廃止し、中学生以外の利用者も乗り合う。どの便も乗れるようになるので、かえって良い。

【協議会での意見】

- ・農業資材等を購入する機会も多いので、（現況ルートの近くで）ホームセンター等がある糸魚川ショッピングセンター入口バス停を経由するルートはどうか。

◆ 運行便数

	平日	土曜日	日祝日
～8:30	4	8	2
8:30～13:00	8	4	6
13:00～15:30	4	4	3
計	16	16	11

※日曜日の15:30～は、冬期以外は2便である。冬期は、シーサイドバレースキー場からの帰りのニーズに対応したものである。

根知線

※赤字のバス停は路線の起終点を示す

5 根知線

